

8-4-23 選定・契約専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の開催

委員会開催回数：6回（4月～3月）

適時専門委員会を開催し、技術部会、業務システム委員会等からの連絡、アドバイスに基づいて各担当の検討項目を審議した。

(2) 適正なプロポーザル方式、総合評価落札方式の検討

a) プロポーザル・総合評価落札方式の現状把握と年次報告書の作成

各発注機関のプロポーザル方式と総合評価落札方式の実施状況の把握を目的に会員企業にアンケートを実施し、結果について取りまとめた。作成経費の推移、課題や改善点を整理し、とりまとめ、概要版、報告書を作成した。白書、要望と提案の補足資料として活用する。また、協会会員への情報提供として、報告書を協会ホームページに掲載した。

b) 国土交通省の総合評価落札方式のデータ収集整理、課題と適正な選定方式の提案及び年次報告書の作成

各地方整備局の入札調書の開示データを収集し、契約形態別の発注件数、金額、競争入札の落札率の分析、および総合評価落札方式の実態把握と課題の整理を実施し、適正な選定方式の提案と分析結果を白書に掲載した。また、報告書はホームページに掲載した。

c) 積算の現状把握と合理化の提案

総合評価落札方式での積算（予定価格の算出）作業の合理化に向けて、各地方整備局の積算条件の開示状況や質問に対する回答などの事例収集と専門委員の会社への課題や実態把握のためのアンケート調査を実施した。課題や改善点を整理し、報告書を作成した。

(3) 地方自治体への技術による選定の普及提案

a) 地方自治体の選定・契約制度の現状把握と年次報告書の作成

都道府県、政令市の選定・契約制度（指名

基準、入札契約方式、成績評定、優良業務表彰等）の現状把握のために支部にアンケート調査を依頼し、取りまとめ結果を年次報告書として、支部にフィードバックした。

- ##### b) 地方自治体へのプロポーザル方式の普及提案及び総合評価落札方式の適正な運用の提案
- 平成28年度に実施した「都道府県、政令市の入札契約方式に関する実態調査報告書」の結果を参考に、実施件数は少ないものの「技術力による選定方式」を実施している自治体に対して、現状、効果、課題、今後の予定などのヒアリングを通じて新たな事例を収集整理し、支部と本部との意見交換会の場で利用した。報告書はホームページに掲載した。

2. 技術部会・業務システム委員会等との関連

(1) 「要望と提案」と「白書（現状と課題）」

平成29年度「要望と提案」と「白書」については対外活動部会の提示により、当専門委員会は「技術力による選定」の項の原案作成及びバックデータ作成を担当した。

(2) 中期行動計画実施計画のフォロー

中期行動計画のうち、当該専門委員会に関する計画の年次計画及び実施計画作成を担当し、その実施状況について中間報告を行った。

3. 次年度の活動について

以下の継続検討課題について検討する。

- ① プロポーザル及び総合評価落札方式の会員アンケート調査の実施及び課題の報告
- ② 国土交通省の公表資料を基に、契約方式別の発注状況整理および総合評価落札方式の発注状況実態調査及び改善提案
- ③ 地方自治体の選定・契約制度の現状把握と年次報告書の作成
- ④ 地方自治体への技術力重視による簡易で多様な選定方式の提案

また、国交省の新しい取組み事例等を整理し、支部と本部との意見交換会の場で活用する。

（選定・契約専門委員会委員長 新井 伸博）